

審議会等の会議結果報告

1. 会議名	第38回 松阪市政推進会議
2. 開催日時	令和8年3月27日(金) 午後3時から午後5時00分
3. 開催場所	松阪市役所 議会棟 第3・4委員会室
4. 出席者氏名	出席委員：村林守会長 秋山由美委員、小野崎耕平委員、岡山慶子委員、 門暉代司委員、高島信彦委員、齋藤都委員、 西川明樹委員、西村訓弘委員、平岡直人委員、 松浦信男委員、三井高輝委員、渡邊幸香委員 欠席委員：梅村光久委員、米山哲司委員 事務局：竹上市長、近田副市長、永作副市長、藤木企画振興部 長、林企画振興部経営企画課長、小川企画振興部経営 企画課政策経営担当主幹、上村企画振興部経営企画課 政策経営係長
5. 公開及び非公開	公開
6. 傍聴者数	1人(内、報道関係1社)
7. 担当	松阪市企画振興部 経営企画課 TEL 0598-53-4319 FAX 0598-22-1377 e-mail kei.div@city.matsusaka.mie.jp

・議事録は別紙のとおり

第 38 回市政推進会議 会議録（要旨）

1. 日 時 令和 8 年 3 月 27 日（金） 午後 15 時 00 分～17 時 00 分
2. 場 所 松阪市役所 議会棟 2 階 第 3・4 委員会室
3. 出席者 秋山由美委員、岡山慶子委員、小野崎耕平委員、門暉代司委員、齋藤都委員、高島信彦委員、西川明樹委員、西村訓弘委員、平岡直人委員、松浦信男委員、三井高輝委員、村林守委員、渡邊幸香委員

※欠席：梅村光久委員、米山哲司委員

〔事務局〕

竹上市長、近田副市長、永作副市長、藤木企画振興部長、林経営企画課長、小川政策経営担当主幹、上村政策経営係長

4. 主な資料

- ・【資料 1】 令和 8 年度当初予算提案説明における基本的な考え方
- ・【資料 2】 R8 当初予算政策施策別主要事業一覧
- ・【資料 3】 令和 8 年度当初予算参考資料

【議事要旨】

1. 市長あいさつ・市政報告

【市長説明】

- ・令和 8 年度当初予算は、過去最大規模の 842 億円。物価高騰や人件費の上昇、公立病院の運営等の影響により、財政調整基金を 53 億円取り崩す厳しい編成となった。
- ・予算編成の 3 つの視点：「市民生活を支える」「独自性と公平性」「未来への投資」。
- ・中小企業への賃上げ環境整備支援、給食費の抜本的負担軽減（食材費高騰分への市負担）、食品ロス削減条例の制定などに取り組む。
- ・文化・子育て・産業振興への投資を継続し、スケボーの聖地化やクルーズ船誘致など、新たな賑わい創出を目指す。

2. 協議事項：意見交換・質疑応答

(1) 子育て・教育・若者支援について

委員の意見：

- ・朝の居場所づくりについて、共働き家庭のニーズに対応する重要な施策である。
- ・子育て支援において、親が「子育てを選択できる」環境の重要性や、孤立を防ぐための心理的・実質的なサポートが求められる。
- ・若者支援には、単なる金銭的援助だけでなく、夢を育み自己実現を促す機会提供が必要。

(2) 地域コミュニティ・高齢者支援について

委員の意見：

- ・元気な高齢者の居場所づくり・活動拠点が必要。公民館活用や移動手段の確保など、高齢者が参加しやすい環境整備が求められる。
- ・地域での支え合いが重要であり、行政と地域住民との接点作りに期待する。

(3) 医療・健康・公衆衛生について

委員の意見：

- ・がん検診率向上のため、保険料のメリハリ付けなどインセンティブ設計を検討すべき。
- ・医療と福祉の連携による健康寿命の延伸、および感染症予防策の強化が必要。
- ・介護人材の不足が深刻化しており、外国人雇用の検討や行政の伴走支援が不可欠。

(4) 産業・観光・市政運営について

委員の意見：

- ・物価高騰の影響を受けている事業者への「二の矢、三の矢」となる支援を強く求める。
- ・松阪市の強みを活かした広域連携（伊勢松阪など）による観光振興を推進すべき。
- ・10年スパンで未来を見据える企画部門の強化や、AI等の技術活用による行政効率化の検討が必要。
- ・再開発や事業プロセスについて、市民に対して丁寧に説明して納得感を高めること。

3. その他

- ・中小企業支援策（商品券事業等）の周知徹底と、事務費の適正化について意見交換を行った。
- ・スケボーの聖地化については、競技要素の強化と市民の理解促進を並行して進める方針。

以上